

人権月間(11月15日~12月14日)



「おたがいを思いやり、自分や友達の命を大切にしよう。」を児童会のテーマとして掲げ、人権月間の取組を行ってきました。この間、全校遊びや花咲き学校(いいところ見つけ)といった児童会の取組や人権学習参観日、また地域の方と交流する世代間交流行事などに取り組んできました。

12月3日(金)の人権学習参観日では、学年に応じた内容で、違いを認め合うことの大切さや命の尊さ、思いやりのある言動、自分自身を知ることについて考え合いました。「みんなに優しくする。誰にでも公平に。よくないことは正直に注意し合う・・・。」と言葉では簡単に言えますが、自分自身の生活につなげていくことには、さらにステップが要りそうです。先月号の学校だよりの表紙にも記しましたが、思いが思いやりとなって、言葉や行動につながるようにこれからも続けて指導していきます。

<p>1年 はしのうえのおおかみ</p> 	<p>2・3年 男らしく 女らしくって?</p> 	<p>4年 せいっぱい生きる</p> 
<p>5年 生きる力を引き出す笑い</p> 	<p>6年 負けなで</p> 	<p>さくらぎ ぼく わたし はっけん</p> 

5・6年生 合唱発表

授業参観の後、5・6年生が合唱を披露しました。何十億年という悠久の時の流れの中でつながれてきた全ての命の輝きについて書かれた「COSMOS」という曲です。人権参観のしめくりに相応しく、13名が奏でるハーモニーが体育館に響き渡りました。



人権月間まとめの集会

人権月間の取組について、全校で振り返るための集会を行いました。各学級での人権学習の様子や児童会の取組に参加した感想などを交流し、人権擁護委員さんからご講評をいただきました。



【☆児童の振り返り ○保護者の皆様からいただいた感想】

- ☆おおかみさん、最初はいじわるだったけど、次の日でやさしくなってえらいです。いっつもやさしい人になってね。やさしくすると心が気持ちよくなるとわたしは思います。もっとやさしくするともっと心が気持ちよくなるからです。(1年 児童)
- ☆男や女は関係ないので、自分がしたいことをしりたいなと思いました。男女で、仕事や色を決めるのは関係のないことだと知りました。だから、女が野球選手になっても、男が保育園の先生になってもおかしくないと感じました。(3年 児童)
- ☆勉強する前は長生きすることが精一杯生きるということだと思いました。でも、由貴奈さんに出会って、タイムリミットがあって、最後までがんばると分かりました。精一杯生きるということは、最後まであきらめずに生きることだと思いました。(4年 児童)
- ☆将来の夢に向かってあきらめずに走り出していったらいいと思う。自分の個性を伸ばして行って、中学校でも使っていきたい。(6年 児童)
- 授業の中で何度も出てきた「相手の気持ちを考える」「思いやる」ということについて、家でも話したり伝えたりすることが大切だと改めて感じています。子どもが何を思っているのかも、その都度できるだけ聞き取るよう努めたいと思いました。
- 一人一人の違いを認めたり、自分や友達の良いところを見つけたり、それぞれが大切な存在であることを学ぶことはとても意味のあることだと思います。「人権」というと難しく感じてしまいましたが、今回の人権学習のようにテーマを決めて、掘り下げて考えていくやり方はいいと思いました。
- 少ない人数で大きな体育館ではありましたが、とても素晴らしい歌声でした。心癒されました。一つの目標に向かって頑張った日頃の練習の成果が出たと思います。また、その頑張りでみんなに一体感が持てたのではないかと思います。
- 練習で上手にできなかったことや注意を受けたこと、たくさん話してくれていました。みんなで合わせるとどんな合唱になるのか想像していなかったですが、少ない人数、短い練習期間の中でみんな大きな声で上手に歌えていたと思います。

1・2年 乗り物たんけん

生活科の学習の一環として、公共の乗り物や施設の利用の仕方やその仕組み等について学習するために「乗り物たんけん」に出かけました。東雲駅に到着した子どもたちは、ドキドキワクワク。整理券を取って列車に乗り込みました。見慣れた景色も車窓から眺めると、また違って見えたようです。西舞鶴駅に降り立ち、歩いて西図書館へ向かいました。図書館では、利用の仕方を教わるだけでなく、普段は入れない書庫も見学させていただき、昔の本から新聞までたくさんの資料が保管されていることに驚いていました。昼食は、舞鶴公園でお弁当を食べ、帰りの切符は自分で券売機で購入しました。

自分たちの生活がいろいろな施設や仕組みによって支えられ、豊かで快適になるように工夫されていることを感じる機会となりました。



3・4年 総合的な学習の時間

「身近な福祉について考えよう。」をテーマに学習を進めている3・4年です。今回は、舞鶴市身体障害者福祉センターの皆様にお世話になり、講話や体験などをさせていただきました。「車椅子って乗るのも、押すのもたいへん」「見えないうってこんな感じ」など、体験したからこそ気付ける発見がたくさんありました。



5年 わくわく発表会

日頃の学習の成果について全校の前で発表するわくわく発表会を行いました。11月の担当は、5年生です。これまでに取り組んできた「お米作り」について、体験をもとに発表しました。発表の中では、ボールとざるを使ったお米摺りを他の学年にも体験してもらいました。また、発表の途中にはクイズを取り入れるなど、聞いている人が興味を持ってくれるように工夫しました。

発表を聞いていた児童からは、「お米作りの大変さが分かった。」「これからも感謝して食べたい。」とたくさんの感想があがりました。



6年 PUSHプロジェクト

救命措置について学ぶ「PUSH プロジェクト」に取り組みました。交通事故以上に割合の高い心臓突然死について映像を交えて学び、いさという時に行動できるように心肺蘇生やAEDの使い方について学びました。

実際の場面で行動するためには、相当な勇気がいると思います。しかし、その勇気で救える命があることを知っておくことがこれからのつながりです。



「見守り隊」お世話になりました。

見守り隊の皆様には、2学期間、子どもたちの登下校の安全についてご指導いただき、ありがとうございました。おかげさまで、今学期も登下校中には大きな事故もなく、終業式を迎えることができました。冬休み期間中にも、地域で子どもたちを見かけられた折には、声をかけていただきますようお願いいたします。



由良川っ子のがんばり

☆令和3年度 舞鶴市人権標語☆

特選 2年

「きみとぼく ちがいもすてきな たからもの」

入選 6年

「やめなよと 勇気を出して さあ言おう」

☆小学生の税に関する書道☆

舞鶴納税協会会長賞 金賞 4年

舞鶴納税協会会長賞 銀賞 5年

☆令和3年度 京都府「海の子」作品展☆

京都府漁業協同組合組合長賞 2年

3年

京都府信用漁業協同組合連合会会長賞 2年

3年

京都府水産振興事業団理事長賞 2年

佳作 2年

2年

2年

2年

☆J A共済京都府小中学生書道コンクール☆

条幅の部 佳作 5年



由良川小学校ホームページ <http://yuragawa-es.maizuru.ed.jp>

☆子どもたちの活動の様子などを紹介しています。ぜひ、アクセスしてみてください☆